

特集 II

αシクロデキストリン

短鎖脂肪酸のスロー・リリースで免疫補助

シクロケム

環状オリゴ糖「シクロデキストリン」のさまざまな機能性研究を実施しているシクロケム(東京都中央区、〒103-5614・7147)は、αシクロデキストリン(αCD)の「環状」とい

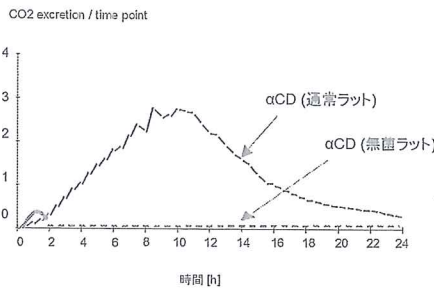
う特性が発揮する腸内細菌の補助メカニズムを解明。免疫バランスの正常化、アレルギー疾患の予防・改善に有用性が高い素材として提案している。

(オリゴ糖)によって、乳児のビフィズス菌と乳酸菌が増加する結果が得られている。

イタリアでアトピー性皮膚炎、アレルギー性鼻炎、喘息の既往歴を有する父母の新生児259人の6カ月におよぶ大規模な臨床試験においても、難消化性デキストリンのアレルギー疾患予防効果が確認された。

そうしたアレルギー疾患に有効とされる難消化性デキストリンの中でも、その形状の特質から腸内を長時間にわたってビフィズス菌優位の環境に保つことができるのが、αCDだ。

単に消化酵素で分解されない点は、通常の難消化性食物繊維と変わらないうが、その最大の特徴は「環状」であることだ。



αCDをラットに経口投与後の二酸化炭素排出量の推移

母親の産道を通ることで受け継がれた腸内の細菌叢は、母乳に含まれるオリゴ糖によって増殖が促され、乳幼児の免疫機能に働くことが知られている。

EUで行われた調査では、人工乳に添加した難消化性デキストリン